

「議員と語る会」余多公民館

令和8年7月2日

質問・要望と議会回答

1 元職員による不法行為に関する和解案について

【質問・意見】

元職員による公金の不法行為について、町長が示した和解案は月額3万円を長期間返済する内容と聞いている。全額回収を掲げてきた町の姿勢との整合性や、利息を付さないこと、公金を扱う問題としての公平性などについて疑問がある。議会として町当局と十分に議論し、町民が納得できる対応をしてほしい。

【回答】

今回議会で審議したのは民事上の損害回復に関する和解案である。和解案については、弁護士、町及び本人等による協議を経て提示されたものと説明を受けている。議会では、裁判を続けた場合の費用や回収可能性、本人の返済意思等を評価する賛成意見がある一方、返済期間が極めて長期となること、利息を付さないこと、町が掲げてきた全額回収との整合性などを問題とする反対意見があり、採決の結果、否決された。今後も議会として必要な審議を行っていく。

2 町長等の管理監督責任と再発防止について

【質問・意見】

不法行為による損害額や、町長・副町長・担当課長等の給与減額の取扱いについて町民に分かりやすく示してほしい。また、役場内部で発生した問題として、管理監督責任を明確にし、再発防止と信頼回復に取り組む必要がある。

【回答】

町長、副町長、担当課長等の給与減額は、損害の返済に充てるものではなく、管理監督責任に関する措置として行われたものである。町では現金取扱いの縮小、電子決裁、印鑑管理の徹底等の再発防止策を進めている。議会としても監視機能を果たし、再発防止と信頼回復に向けた取組を確認していきたい。

3 スマート農業の導入・研修について

【質問・要望】

農業者の高齢化や担い手不足が進む中、スマート農業の導入を進める必要がある。まずは農業者が実際のシステムを見て学べる研修や実証の機会を設け、事業化につなげてほしい。

【回答】

先進企業では営農支援システムの研修や勉強会が行われており、講師を招いた研修等も可能と聞いている。政策提言にも研修等を盛り込み、農業者が実際に学べる機会をつくる方向で検討したい。ドローンや自動運転、衛星測位等を活用した省力化技術も進展しており、本町でも段階的にスマート農業を進めていく必要がある。

4 製糖工場、サトウキビ生産と議員定数について

【質問・意見】

スマート農業も重要だが、南栄糖業の製糖工場の今後やサトウキビ生産基盤への対応を優先してほしい。また、議員定数についても削減を検討してはどうか。

【回答】

サトウキビについては、製糖時期の遅れが春植えや管理作業等に影響している。将来を見据えた製糖体制について、南栄糖業に対し第2工場の整備等を提案している。また、農地の基盤整備や機械化を進め、生産性向上につなげる必要がある。キビ交付金についても、生産コスト等を踏まえた見直しを関係機関に求めている。

議員定数については、議員間の検討を進めている。

5 農地基盤整備、農道整備と区長の待遇について

【質問・要望】

農業所得向上のため、複数地区が連携した農地の基盤整備を進めてほしい。また、はちまき線など農産物輸送に重要な道路の整備を継続してほしい。あわせて、地域活動を担う区長の待遇改善についても検討してほしい。

【回答】

農地の基盤整備については、まず地域内で協議し、一定の区域をまとめた上で要望書を提出していただくことが必要となる。道路整備についても国の交付金等を活用しながら順次進めている。区長の報酬については、区長会等での協議・合意を踏まえて検討する必要がある。

6 公共交通・デマンドバスについて

【質問】

ライドシェアの検討はどうなったのか。また、現在のバス・デマンド交通はどのような運行になっているのか。

【回答】

ライドシェアについては現在導入していない。デマンドバスは利用状況等を調査した結果、昼からの運行を中心とする形となっている。午前中は通常のバス運行を行い、昼以降はデマンド運行としている。

7 町会計の入金明細・情報提供について

【質問・要望】

町からの振込について、会計管理者の通帳に振込元や担当課等が分かる形で記載されず、金額の内訳が分かりにくいことがある。以前送付されていた明細書も最近は届いていない。振込内容を簡潔に確認できる仕組みにしてほしい。

【回答】

振込内容の明細を確認できるようにしてほしいという要望として受け止めた。ペーパーレス化との関係も含め、現状を確認した上で担当部署に要請する。